

梅若会定式能

能
胡

蝶

梅若
景英



舞囃子
葛

城

大和舞

山村
庸子

舞囃子
紅葉狩

角田
勝美

能
天鼓

盤渉

川口
晃平



*十二時三十分からショートレクチャー（講師 山中迺晶）があります。

令和七年九月二十一日（日）
午後一時開演（正午開場）

梅若能楽学院会館

自由席 七、〇〇〇円

ショートレクチャー 令和七年（二〇二五年）九月二十一日（日）午後十二時三十分

ショートレクチャー 山中 近晶

梅若会定式能 令和七年（二〇二五年）九月二十一日（日）午後一時開演

舞囃子

紅葉狩

角田 勝美

亀井 洋佑
曾和伊喜夫 一噌 隆晴

地謡 井上須美子
伶以野陽子 鈴木 矜子
三吉 富田 雅子

舞囃子

葛

城

山村 庸子

亀井 洋佑 大川 典良
曾和伊喜夫 一噌 隆晴

地謡 綿田 美花
井上須美子 井上貴美子
高橋 三吉 栄 徹子

能

胡

蝶

梅若 景英

則久 英志

亀井 洋佑 金春惣右衛門
曾和伊喜夫 一噌 隆晴

狂言

附

子

《休憩十五分予定》

山本泰太郎

山本 則重
山本 則秀

後見 山崎 正道
梅若長左衛門

地謡 山崎 友正
土田 亮 貴子
梅若雄一郎 郎 隆紀 之 彰 晶子

間 山本凛太郎

能

天

鼓

盤渉

川口 晃平

間 山本 則孝

柿原 孝則 大川 典良
鳥山 直也 栗林 祐輔

後見 山中 近晶
角当 直隆

地謡 河本 友進
土崎 英正 高尾 橋
小田切 亮磨 梅松 若 基 隆 德 維 榮 教 子

『胡蝶』 ～こちよう～

大和の吉野の僧が都へ上り、風情ある古宮の梅の花に見入っていると、年若い女に声を掛けられる。女はこは昔から宮中の人が御遊を催すところであると教える。僧が名を尋ねると実は人間ではなく草木の花に遊ぶ胡蝶であると明かし、早春の梅花に縁のないことを嘆き、姿を消す。僧が読教して仮寝をすると胡蝶の精が姿を現す。胡蝶の精は法華経の功德により成仏できたことを喜び、舞を舞い、やがて明け行く空とともに消えてゆく。

『天鼓』 ～てんこ～

中国、後漢の代に天鼓という名の子供が持つ、天から降ってきた鼓は、世にも美しい音が響くという。その噂を帝が耳にし、その鼓を献上するよう勅命を下す。勅命を拒んだ天鼓は鼓を抱き山中に逃げるが、遂に捕まり呂水の江に沈められる。取り上げた鼓はその後誰が打つても鳴らず、帝は天鼓の父王伯に打たせる為に、勅使を迎へに出す。王伯は息子を亡くし嘆きつつも宮中に赴き、鼓を打つと親子の情が通じたのか美しい音が響く。帝はこれに感銘を受け天鼓の霊を弔うと約束し、王伯に宝を与える。呂水のほとりて天鼓の弔いを始めると、水の中から天鼓の霊が弔いに感謝し現れ、ほとりに置かれた鼓を喜んで打ち舞を舞う。やがて夜が明けるのと共に美しい音色を残し天鼓の霊の姿は消える。

<JR線>

・総武線・東中野駅西口 徒歩8分

<地下鉄>

・大江戸線 東中野駅 A3出口
・大江戸線 中野坂上駅 A2・2出口
・丸の内線 中野坂上駅 A2・2出口
いずれも徒歩8分

<バス>

①関東バス（宿05：中野駅経由）
新宿西口→野方行 宮下交差点下車
②関東バス（宿05：中野駅経由）
野方→新宿西口行 東中野2丁目下車
③京王バス（渋64：中野坂上経由）
渋谷→中野駅南口行 宮下交差点下車
④京王バス（渋64：中野坂上経由）
中野南口→渋谷行 東中野2丁目下車

*当会館は駐車場はございません。
ご来場の際は電車、バス等をご利用下さい。

東京都中野区東中野2-6-14

（公財）梅若会

（梅若能楽学院会館）

TEL：03-3363-7748

FAX：03-3363-7749



【観能チケットとお願い】

◆自由席 7,000円・正面指定料別途 1,000円（指定のご希望は公演1週間前までお申し込み下さい）

◆チケットは梅若会 HP からメールまたは電話、ファクスにて郵便番号、ご住所、お名前、ご連絡先電話番号、ご希望席種をお書きの上
お申し込み下さい。（<https://umewaka.org/> TEL 03-3363-7748（不定休）・FAX 03-3363-7749）

◆都合により出演者、曲目に変更がある場合がございます。

◆当日のクローク（荷物お預かり）は閉鎖させていただきます。

◆梅若会の感染予防対策の取り組み内容

当能楽堂内は株式会社松美家様のご協力により、光触媒（抗菌）コーティング加工済ですので安心してご観能下さい。

◆観能に際してのお願い

主催者の許可のない公演中の写真撮影、録音等は著作権、肖像権等の侵害および他のお客様のご迷惑になりますので固くお断り致します。
（開演前、休憩中のみ舞台の撮影は可能です。）

◆主催：公益財団法人 梅若会

